

## 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会 議事概要

1. 令和6年11月22日(木曜日)14時00分から16時00分
2. マイドームおおさか4階 セミナー室
3. 議事

### (1) 令和7年度 地域活性化事業の採択方針について【審議事項】

※「議事5の事業計画書及び実績報告書の変更(案)について」を含む

(評価委員)

・事業計画書について、申請者の概要等、毎年重複する部分については削除しても良いのではないかと。

(事務局)

・府HPでの公表も実施していることもあり、各団体の概要については、削除はしない方向性である。ただし、毎年重複した内容となっているため、府の方で把握している最新の内容を反映したうえで、各単会へは今年度の事業計画書の様式を配布する予定である。

(評価委員)

・その他、異議なし。承認。

### (2) 利用者満足度調査アンケートの変更(案)について【審議事項】

(評価委員)

・前回相談した商工会・商工会議所をリポートして利用したいかという項目に調査内容が変更されているが、実際に相談先を別の商工会・商工会議所に変更することはあるのか。

(事務局)

・そういったこともあると伺っている。

(評価委員)

・もともと相談していた商工会・商工会議所より、エリア的に遠くの場所に相談しに行く場合もあるのか。

(事務局)

・そういった場合もある。

(評価委員)

・アンケートについては、インターネット回答も可能か。

(事務局)

・可能である。

(評価委員)

・その他、異議なし。承認。

### (3) 事務の共同処理に係る事業の進捗状況について 【報告事項】

(評価委員)

・支援機関であれば、業務効率化は自ら進んで取り組んでいくべきことである。自分たちが取り組んだ業務効率化の経験を事業者支援に活かせると思うので、積極的に進めていただきたい。

(事務局)

・評価委員からの意見も参考に、どのようにすれば各団体の業務の省力化が進むのかを大阪府商工会連合会及び専門家を交え、進めてまいりたい。

(評価委員)

・本事業の事業費については、どのような経費に充てられているのか。

(事務局)

・今年度については、各商工会へ実際の業務に関するヒアリングを専門家に行ってもらっている。その専門家への謝金等となっている。来年度以降、業務効率化に関するシステムの導入等を進めていく予定である。

(評価委員)

・具体的に、どの業務が効率化できるという項目があるのか。

(事務局)

・今は意見の集約をしているところである。そのため、具体的にどの項目を共同処理できるかは定まっていない。今回参加いただいている専門家の方は、他府県での同様の取組みについて実績がある。各単会の経営指導員に対してヒアリングしていただいております。今まで以上に踏み込んだ形で情報収集をしていただいているところである。府としましても、大阪府商工会等共同処理検討委員会に参加し、着実に共同処理が進むよう取り組んでまいりたい。

(評価委員)

・必要な取組みをしっかりと進めていただきたい。

### (4) 小規模事業経営支援事業の効果的・効率的な事業運営に向けた検討について 【報告事項】

※「議事 6 の地域活性化事業の見直しの方向性・スケジュールについて」を含む

(評価委員)

・指導員の要件について、良い人材を採用することは各単会にとって困難になっているところがあるのではないのか。副業・兼業の活用は必要になる可能性があるのではないか。

(事務局)

・現在の小規模事業経営支援事業費補助金交付要綱上、経営指導員の資格については定めているが、雇用形態について定めている部分はない。団体によっては、すでにそういった方を活用されているということもある。検討会を通じて、人材活用について認識のずれが生じていることも判明したので、再度団体へは内容を整理してお伝えする必要があると考えている。

(評価委員)

・今の経営指導員のスタンダードな資格は何か。

(事務局)

・簿記2級という資格で登録されている方が多い。

(評価委員)

・実際の経営指導員がどういう指導をするのかによって必要とされる資格も変わる。

(事務局)

・団体によって、簿記3級にするのは経営指導員の資格として不十分ではないかとの声もいただいている。

(評価委員)

・人材不足という課題もある一方で、実際のサービスの効果という面でも考えていただきたい。

(事務局)

・そういった面も考慮し、進めてまいりたい。

(評価委員)

・経営指導員の年齢というものはあるのか。

(事務局)

・府としては、年齢制限は設けてはいない。各団体の規則による。

(評価委員)

・地域活性化事業について、本当に各地域の活性化につながる事業を実施できているのか。各事業について振り返り等できているのか。

(事務局)

・地域活性化事業については、前年の実施内容から PDCA サイクルを意識し、次年度の事業計画を作成いただいている。また、事業計画書については、各単会へのヒアリングを通じてブラッシュアップするように意識しているところである。

(評価委員)

・創業や販路開拓系の事業に偏っていないのか。必要以上に実施していないか、気になるところである。

(事務局)

・地域の特性で色が違うというものはある。販路開拓が必要という地域もあれば、地域での人材不足が課題となっているので人材育成や就業フェアに人を集めることに苦労しても実施しているところもある。府としては、地域にとって無理なく実施できているのか、不必要な事業をしていないかについてはしっかりと確認させていただいている。

(評価委員)

・人材不足が大きな課題であり、その中で生産性の向上は必要なものである。ただ、自社の事業の見直しなどの取組みは、地味にはなるが大切なことである。前向きにやっていただきたい。

(評価委員)

・経営相談支援事業については、経過として支援メニューが増えてきているところではある。その一方で、サービス提供に対する評価へのトーンが落ちている印象がある。また、地域活性化事業については、団体が自ら評価項目を定めているというところもあり、より評価が難しいところである。

(事務局)

・今まで各単会の実施したい事業をご提案いただいているという部分もあった。今回の見直しのなかで、本当に地域にとって必要な事業を実施してもらおうという位置づけをしっかりとしていきたいと思っている。

(評価委員)

・各地域の商工会・商工会議所が一番現場を理解していると思うので、地域として必要な地域活性化事業を実施してほしいと考えている。手続きの部分については、極力簡素化して地域での支援に力を入れていただくという形にしていればと思う。

(事務局)

・ご意見を踏まえ、対応を検討させていただく。

#### (5) 令和6年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュール 【報告事項】

・特に意見なし。

**閉会**